

第2回 2025年デフリンピック大会に係る大会準備連携会議
(議事概要)

1 開催日時

令和5年3月17日(金曜日)14時30分から15時20分まで

2 開催場所

東京都庁第一本庁舎42階北塔 特別会議室B

3 構成員等

○構成員

一般財団法人全日本ろうあ連盟
東京都
スポーツ庁

久松 三二 常任理事・事務局長
渡邊 知秀 生活文化スポーツ局次長
八木 和広 参事官(国際担当)
(代理出席:益永 直樹 参事官補佐)

公益財団法人日本オリンピック委員会
公益財団法人日本パラスポーツ協会
弁護士
公認会計士

靱井 圭子 常務理事
藤原 正樹 常務理事
三好 豊
中村友理香
(欠席のため意見代読)

○事務局

一般財団法人全日本ろうあ連盟
東京都

4 要旨

【全日本ろうあ連盟 久松事務局長 挨拶】

- ・本日は、お忙しいところ、第2回2025年デフリンピック大会開催に係る大会準備連携会議にご出席いただき、感謝申し上げます。
- ・私から、一言、ご挨拶を申し上げます。
- ・先月の第1回会議では、大会までのロードマップ、連盟と都の業務分担、大会運営組織の体制図、大会の事業規模等について皆様にご確認を頂いた。
- ・本日は、2025年大会の大会運営組織である、全日本ろうあ連盟内に設置するデフリンピック運営委員会と、東京都スポーツ文化事業団内のデフリンピック準備運営本部の来年度の事業計画と予算についてご報告をさせて頂く。

- ・今回から、いよいよ具体的な準備・運営の実施内容についてご議論を頂くこととなる。皆様のご意見、ご助言を頂きながら、大会の成功に向けて着実に準備を進めていきたい。
- ・引き続き皆様のご協力をお願いします。

【資料説明（事務局）】

○大会運営組織における令和5年度事業計画（案）

- ・まず、全日本ろうあ連盟内に設置する運営委員会の事業計画について説明する。
- ・基本方針として、大会運営の主体として都のガイドライン等を踏まえたガバナンス体制やコンプライアンス確保、計画・予算・契約・調達に係る内部統制・外部チェックの仕組みを構築するとともに、東京都スポーツ文化事業団等と連携し、大会計画作成に取り組む。
- ・ガバナンス体制の構築については、都のガイドラインやスポーツ庁の指針を踏まえ、利益相反管理規程の作成・体制整備や、契約支出管理委員会（仮称）への契約・調達案件付議等に取り組む。
- ・大会準備業務については、開催準備を着実に進めるため、ICSD や関係団体等との調整、連携、大会エンブレムの企画検討、発表などを実施していく。
- ・続いて、東京都スポーツ文化事業団のデフリンピック所管部署における来年度の事業計画について説明する。
- ・基本方針として、国際スポーツ大会の運営組織として適切なガバナンス体制を速やかに構築するとともに、大会までの時間が残り少ない中で、来年度は基礎プランニングフェーズとして、大会の準備・運営がスムーズに実施できるよう、ろうあ連盟内の運営委員会等と連携し、基礎的な計画を作成していく。
- ・ガバナンス体制の構築は、大会の準備運営を進める上での前提となるものではあるが、こちらもしっかりと確保していく必要があることから、今回報告させて頂いている。
- ・具体的には、利益相反ポリシーの作成、また、契約支出管理委員会（仮称）への契約・調達案件付議などを実施していく。
- ・大会準備業務については、4月から開催基本計画の検討を実施する予定であり、競技・会場運営等については、日程スケジュール等を含む競技要項の確認や ICSD との調整、各競技団体との協力体制の構築、会場所有者との調整、競技会場におけるサービス提供レベルなどを検討する。
- ・輸送宿泊については、選手の輸送や配宿の計画検討、開閉会式等については、セレモニーの企画、表彰式、メダル制作の検討、選手団対応については、選手団長セミナーの企画検討、選手向け小冊子の作成・発行を実施する。

○大会運営組織における令和5年度予算（案）

- ・まず、全日本ろうあ連盟内の大会運営組織の予算について説明する。
- ・先ほど事業計画の中でも説明をさせて頂いたが、ICSD等の連絡調整、全国の気運醸成、手話言語ボランティア等の人員配置計画等を連盟内の運営委員会が担っており、その初年度の経費として、各種計画の策定費や事務局運営費等を計上している。
- ・経費の内訳としては、広報費等の事業費として404万円、事務局の人件費等の管理費に2,556万円を計上し、合計で2,960万円となっている。
- ・続いて、東京都スポーツ文化事業団のデフリンピック所管部署の予算について説明する。
- ・これまでもご説明をさせて頂いてきたとおり、東京都スポーツ文化事業団は、競技・会場運営などの大会の運営実務を担う。
- ・その初年度に係る経費として、各種計画策定費や事務局運営費などを計上している。
- ・経費の内訳としては、委託料として約2億4千万円、賃借料として約6千万円など、その他の経費も含めて合計で391,456千円を計上している。
- ・委託料の中には、競技会場運営計画や輸送宿泊計画の策定に係る経費として約2億円を計上している。その他は主に職員関係費やオフィス賃借料、入居工事費、什器・備品の購入費などの事務局運営費となっている。
- ・また、指定正味財産増減の部に、オフィス賃借に係る敷金など資産とすべき額を「デフリンピック運営準備資金」等を計上している。
- ・経常費用に対応する収入については、391,456千円を計上しており、都からの負担金で充当予定である。
- ・この予算案は、東京都議会令和5年度第1回定例会にて令和5年度予算案が可決し、東京都スポーツ文化事業団の理事会において令和5年度予算案が承認された場合に確定する。
- ・なお、今後、大会経費を積算・公表にするにあたっては、両組織の収支をキャッシュベースで合わせ、分かりやすい形でご説明させて頂く予定である。

【意見交換】

○東京都 渡邊次長

- ・2つの大会運営組織の事業計画、予算についての報告があったが、デフリンピック大会の成功に向けては、大会を都民・国民に信頼される、透明で公正なものとしていくことが極めて重要である。
- ・ガバナンス体制の構築についても報告があったが、都のガイドラインや国の指針などに基づき、しっかりとした体制を構築するとともに、適切な運用をしていきたい。
- ・デフリンピック大会を成功させ、パラスポーツの振興や共生社会の実現など、東京2020大会のレガシーをしっかりと継承・発展させ、「全ての人々が輝くインクルーシブな街・東京」へとつなげていくため、都としても必要な取組を実施していく。
- ・引き続き、皆様のご助言、ご支援を頂きながら、円滑に準備運営を進めていきたい。ご

協力をお願いする

○スポーツ庁 益永参事官補佐

- ・報告の中でもご紹介があったが、2月に「大規模な国際又は国内競技大会の組織委員会等のガバナンス体制等の在り方に関する指針（案）」を発表したところで、今月中には指針としてまとめる予定である。それに則って、今後の大会に向けた体制の構築に取り組んで頂ければと思う。

○JOC 萩井常務理事

- ・ガバナンスの確保は非常に重要であるが、あくまで大会の開催に向けた前提であり、それ自体が目的となるものではない。何のために大会を実施するのか、ということは常に考えて頂きたい。
- ・大会まで残り3年を切る中で、まずは全体の工程表をしっかりと作成して、そこからいつまでに、何をすべきか、ということを計画に落とし込んで、それぞれの大会運営組織の間で認識合わせをしていく作業が重要になると思う。
- ・例えばエンブレムの作成などは気運醸成の取組になるので、大会の直前に完成したのでは遅い。また、手話言語ボランティアの育成などは時間がかかると思うが、こういったものはさらに前倒しで準備を進めていく必要がある。
- ・また、質問だが、連盟内の運営委員会の予算に給料手当という項目があるが、これは運営委員会の業務に対応する人員を新たに採用する予定なのか、それとも連盟の他部門の人材を、この業務に充てていく予定なのか。
- ・都事業団については、委託料の計上があるが、計画策定などの委託については、今般の談合事件の影響でイベント会社や広告代理店などが指名停止になっている中で、どのような事業者へ委託していく予定か。

○JPSA 藤原常務

- ・事業計画と予算についての報告があったが、初年度で体制も完全には整わない中であるので、こうした形で進め、予算規模も概ねこの程度のものでと思う。
- ・前回会議の中で、大会規模が約130億円という報告があったところで、予算も今後、来年度、再来年度と増えていくことになると思う。今回は、収入については、連盟側では見込まず、都事業団は都からの負担金、ということになっているが、総額約130億円、ということなので、今後は収支の計画についてもしっかりと考えていくことが重要である。

○三好弁護士

- ・ガバナンス体制について、実際の大会の運営を担うのはろうあ連盟内の運営委員会や事業団のデフリンピック部門ではあると思うが、最終的な意思決定はそれぞれの理事会になるので、大会運営組織だけでなく、コンプライアンスに関する規程や利益相反ポリシーなどは、ろうあ連盟や都事業団の全体に適用される形であるべきと考える。

○中村公認会計士（事務局代読）

- ・今回の報告では、東京都スポーツ文化事業団と全日本ろうあ連盟のそれぞれの大会運営組織から別々に予算が出されたが、今後、双方を合算して、現在の試算で約130億円とされている大会経費の総額に対して、どのような項目でいくらの経費がかかるかということが把握できる形での報告、また令和5年度はそのうちどれぐらいの予算となるのかを把握できる形式での報告を頂けるよう、ご検討を頂きたい。
- ・また、大会の準備運営を円滑に進めていくためにも、それぞれの大会運営組織間でのコミュニケーションがしっかりと行われるような仕組みについても検討をして頂きたい。

○事務局（東京都）

- ・貴重なご意見、ご質問に感謝申し上げます。
- ・国際手話の人材の育成については、現在は通訳レベルの人材は、日本国内で10～20人程度と聞いている。大会まで残り3年を切る中で、連盟が主体となって人材を確保していくが、都も4月から国際手話人材の育成講座の受講者に対する助成を実施し、大会までに160人を育成する予定である。
- ・輸送宿泊の委託については、旅行代理店等を活用していくことになろうかと思うが、競技運営に関しては、現在の状況を踏まえて、どのように対応していくか、検討しているところ。
- ・収支計画については大変重要であると考えている。例えば過去の台北大会やサムスン大会では、収入のほとんどを公的資金で賄っていた。2025年のデフリンピック開催は、パラスポーツの振興やユニバーサルコミュニケーションの促進、情報保障の充実などにつながることから、民間、国、都などの関係者が協力しながら開催を支援していくことが重要であると考えている。こうした開催意義を広く普及して、民間からの寄付金等も幅広く集めていきたいと考えている。
- ・また、ガバナンスの関係では、コンプライアンス研修などは組織全体で実施するが、例えば事業団で言えば、コンプライアンス委員会自体は既にあるが、外部委員が入っていないため、デフリンピック部門用にコンプライアンス委員会を新たに作り、外部委員にも参画してもらおう、というような体制にしていくことなどを考えている。
- ・予算については、今後は2つの大会運営組織の数字を合算して、分かりやすい形で報告をさせて頂きたいと考えている。

○事務局（全日本ろうあ連盟）

- ・2025年の大会開催までのスケジュールをしっかりと立てていく、ということは非常に重要。東京都とも繰り返し協議をしているところで、今後お示しできるようにしていく。
- ・エンブレム、マスコットについては、著作権や知的財産権の関連で、権利の抵触がないよう、専門家も交えて慎重に対応しつつ、なるべく早く進めていきたい。
- ・また、手話言語ボランティアの育成については、関係団体と連携して、それらの団体の有する手話人材の活用等を図っていきたいと考えている。また、気運醸成についても全国の自治体やデフアスリートなどと連携しながら取組を進めていきたいと考えている。

- ・連盟内の運営委員会の事務局人員については、6名体制でのスタートとする予定。人員は連盟内の別部門の人員を大会準備業務の対応に充てていくことを考えている。
- ・ガバナンス関連の各種規定については、連盟全体に適用できるような形にすべき、というご意見はそのとおりであると思う。その認識で策定を進めているところで、運営委員会のみならず、連盟全体の信用が上がるような形としていきたい。

○スポーツ庁 益永参事官補佐

- ・予算の関連で、今後寄付などがあった場合、その収入の受け皿や配分について、2つの大会運営組織の間でどうしていく予定か。

○事務局（全日本ろうあ連盟）

- ・現在検討中であり、今後も都と協議していく。

○東京都 渡邊次長

- ・貴重なご意見を頂き、感謝を申し上げる。
- ・大会まで残り3年を切っており、限られた時間の中で如何に効率的に準備を進めていくかが非常に重要となる。ガバナンスの確保も重要であるが、大会準備を計画的に、しっかりと進めていく必要がある、というご意見はまさにそのとおりであると思う。
- ・今後、大会開催に向けてやるべきことは多くあるが、引き続き、皆様のご支援、ご協力をお願いする。

【意見交換総括】

○事務局

- ・本日のまとめをしたい。
- ・それぞれの大会運営組織の来年度の事業計画と予算について、皆様にご確認を頂くことができたと考えている。
- ・今後の大会準備のスケジュールについて、今回報告した事業計画では、いつまで、何を実施するか、という部分が見えにくい所があったが、前回の会議でロードマップについて報告し、そこでマイルストーンについてはお示ししているところである。今後はこれを深掘りして、大会開催基本計画の中に盛り込んでいきたい。
- ・今後の大会準備連携会議についてだが、来年度は、概ね四半期に一度程度の開催を考えているところであり、次回は5～6月頃になるものと考えている。引き続きご協力をお願いしたい。

○全日本ろうあ連盟 久松事務局長

- ・皆様からのご指摘、ご意見も踏まえ、大会の成功に向けて準備を進めていきたい。今回の会議は、これで閉会とする。